

【学校】

建築物の名称①	建築物の名称②	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
土浦第二小学校	1棟	土浦市富士崎二丁目1-41	小学校	(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.02 (0.72/0.7) CTU・SD=0.42	-	-	耐震化済 Iso=0.7
	20棟			(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.24 (0.87/0.7) CTU・SD=0.44	-	-	耐震性有 Iso=0.7
	22棟			(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.02 (0.72/0.7) CTU・SD=0.34	-	-	耐震化済 Iso=0.7
下高津小学校	1-1,-2,-3,-4棟	土浦市下高津四丁目2番9号	小学校	(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.03 (0.797/0.77) CTU・SD=0.83	-	-	耐震化済 Iso=0.77
	校舎棟(7棟)			(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1 (0.77/0.77) CTU・SD=0.82	-	-	耐震化済 Iso=0.77
大岩田小学校	普通教室棟(8-1棟)	土浦市大岩田2066-1	小学校	(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.05 (0.74/0.7) CTU・SD=0.6	-	-	耐震化済 Iso=0.7
	特別教室棟(8-2棟)			(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.35 (0.95/0.7) CTU・SD=0.54	-	-	耐震化済 Iso=0.7
	管理棟(8-3棟)			(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=2.12 (1.49/0.7) CTU・SD=0.75	-	-	耐震化済 Iso=0.7
	管理・普通教室棟(8-4,-5棟)			(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.14 (0.8/0.7) CTU・SD=0.76	-	-	耐震化済 Iso=0.7
	普通・特別教室棟(8-6棟)			(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.11 (0.78/0.7) CTU・SD=0.32	-	-	耐震化済 Iso=0.7

荒川沖小学校	普通教室棟(1-1,-2棟)	土浦市荒川沖東三丁目24-3	小学校	(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.01 (0.71/0.7) CTU・SD=0.56	-	-	耐震化済	Iso=0.7
	管理・特別教室棟(13棟)			(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.25 (0.88/0.7) CTU・SD=0.47	-	-	耐震性有	Iso=0.7
	特別教室棟(19棟)			(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=2.4 (1.68/0.7) CTU・SD=0.56	-	-	耐震化済	Iso=0.7
中村小学校	普通教室・特別教室・管理室棟(17棟の一部)	土浦市中村南五丁目29-5	小学校	(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.02 (0.72/0.7) CTU・SD=0.73	-	-	耐震化済	Iso=0.7
	普通教室(17棟の一部,20棟)			(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.02 (0.72/0.7) CTU・SD=0.72	-	-	耐震化済	Iso=0.7
神立小学校	管理室・普通教室棟(1-1,-2棟)	土浦市中神立町4	小学校	(一財)日本建築防災協会「1990年版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.08 (0.76/0.7) CT・SD=0.45	-	-	耐震化済	Iso=0.7
	普通・特別教室棟(1-3,-4棟)			(一財)日本建築防災協会「1990年版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.24 (0.87/0.7) CT・SD=0.94	-	-	耐震化済	Iso=0.7
	特別教室・屋内運動場棟(8,9棟)			(一財)日本建築防災協会「1990年版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.11 (0.78/0.7) CT・SD=0.33	-	-	耐震化済	Iso=0.7
右靱小学校	1-1棟	土浦市右靱1728-3	小学校	(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.02 (0.72/0.7) CTU・SD=0.34	-	-	耐震化済	Iso=0.7
	1-2棟			(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.08 (0.76/0.7) CTU・SD=0.31	-	-	耐震化済	Iso=0.7

土浦第一中学校	普通教室棟(21-1棟)	土浦市文京町3-8	中学校	(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.07 (0.75/0.7) CTU・SD=0.78	-	-	耐震化済	Iso=0.7
	普通教室・管理室棟(24棟)		中学校	(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.01 (0.71/0.7) CTU・SD=0.73	-	-	耐震化済	Iso=0.7
	普通教室・特別居室棟(26棟)		中学校	(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.02 (0.72/0.7) CTU・SD=0.5	-	-	耐震化済	Iso=0.7
土浦第二中学校	29-1,-2,-3,-4棟	土浦市東真鍋町21-7	中学校	(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.07 (0.75/0.7) CTU・SD=0.8	-	-	耐震化済	Iso=0.7
土浦第三中学校	特別・管理・教室棟(24-1棟)	土浦市中村南一丁目25-15	中学校	(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.04 (0.73/0.7) CTU・SD=0.55	-	-	耐震化済	Iso=0.7
	特別教室棟(24-2棟)			(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.04 (0.73/0.7) CTU・SD=0.32	-	-	耐震性有	Iso=0.7
	特別教室棟(24-3棟)			(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.07 (0.75/0.7) CTU・SD=0.78	-	-	耐震化済	Iso=0.7
土浦第四中学校	特別教室棟(17-1,17-2棟)	土浦市中高津三丁目10-4	中学校	(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.02 (0.72/0.7) CTU・SD=0.75	-	-	耐震化済	Iso=0.7
	管理・普通・特別教室棟(17-3,17-4棟)			(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.01 (0.71/0.7) CTU・SD=0.32	-	-	耐震性有	Iso=0.7

茨城県立土浦 特別支援学校	管理棟A	土浦市上高津1238	特別支援学校	(一財)日本建築防災協会「1990年版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震 診断基準」	Is/Iso=2.11 (1.27/0.6) CT・SD=0.78	-	-	耐震性有 Iso=0.6
	管理棟B			(一財)日本建築防災協会「1990年版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震 診断基準」	Is/Iso=1.16 (0.7/0.6) CT・SD=0.53	-	-	耐震性有 Iso=0.6
	特別教室棟			(一財)日本建築防災協会「1990年版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震 診断基準」	Is/Iso=1.45 (0.87/0.6) CT・SD=0.3	-	-	耐震性有 Iso=0.6
	渡り廊下			(一財)日本建築防災協会「2001年改 訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の 耐震診断基準」	Is/Iso=1.32 (0.93/0.7) CTU・SD=0.36	-	-	耐震性有 Iso=0.7

【病院】

建築物の名称①	建築物の名称②	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
霞ヶ浦医療センター	西棟	土浦市下高津2-7-14	病院	(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1 (0.6/0.6) CTU・SD=0.38	-	-	耐震化済 Iso=0.6
	東棟			(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1 (0.6/0.6) CTU・SD=0.31	-	-	耐震化済 Iso=0.6

【店舗】

建築物の名称①	建築物の名称②	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
東郷ビル	-	土浦市大和町3015番	店舗・事務所・その他	(一財)日本建築防災協会「2009年改訂版既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.02 (0.613/0.6) CTU・SD=0.53	-	-	耐震化済 Iso=0.6

【公益上必要な建築物】

建築物の名称①	建築物の名称②	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
土浦市市民会館	-	土浦市東真鍋町1480番	市民会館	(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is/Iso=1.01 (0.76/0.75) CT・SD=0.79	-	-	耐震化済 Iso=0.75

耐震診断の結果の見方

No.	建築物の名称①	建築物の名称②	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	〇〇〇	〇〇〇	土浦市〇〇町〇〇番	〇〇〇	(一財)日本建築防災協会「2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is ^① /Iso ^② =1.02 (0.72 ^③ /0.7 ^④) CTU・SD ^⑤ =0.42 ^⑥	-	-	Iso ^② =0.7 ^④
2	〇〇〇	〇〇〇	土浦市〇〇町〇〇番	〇〇〇	(一財)日本建築防災協会「1990年版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」	Is ^① /Iso ^② =1.16 (0.7 ^③ /0.6 ^④) CT・SD ^⑤ =0.53 ^⑥	-	-	Iso ^② =0.6 ^④

①Is値: 構造体の耐震性能を表す指標値

②Iso値: 想定した地震動レベルに対して建物が所要の耐震性能を安全であるために必要とされる構造耐震指標値

$$Iso = Es \times Z \times G \times U$$

Es: 耐震判定基本指標 (第1次診断=0.8, 第2次・第3次診断=0.6)

Z: 地域指標で, その地域の地震活動や想定する地震動の強さによる補正係数

G: 地盤指標で, 表層地盤の増幅特性, 地形効果, 地盤と建物の相互作用などによる補正係数

U: 用途指標で, 建物の用途などによる補正係数

③当該建築物の各階, 各方向のIs値のうち最小のもの

④当該建物の必要とされる構造耐震指標値

⑤CTU・SD値 (CT・SD値): 主に鉄筋コンクリート造に適用される, 累積強度指標と形状指標の積で, Is値が高くてもこの値が低い場合は安全としない目安

q値: 主に鉄骨造に適用される保有水平耐力に係る指標値

⑥当該建築物の各階, 各方向のCT・SD値又はq値のうち最小のもの

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	I	II	III
指針第1第二号に定める建築物の耐震診断の方法	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \leq C_T \cdot S_D \leq 1.25$
			$1.25 < C_T \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} < 0.5$ 又は $C_{TU} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{TU} \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)	鉄骨が充腹材の場合	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_T \cdot S_D$
	鉄骨が非充腹材の場合		$1.0 \leq I_s/I_{so}$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_T \cdot S_D$
「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.7 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$
建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	—	—	確認できる

- I. 大規模の地震の震動及び衝撃に対してし、又は崩壊する危険性が高い。
- II. 大規模の地震の震動及び衝撃に対してし、又は崩壊する危険性がある。
- III. 大規模の地震の震動及び衝撃に対してし、又は崩壊する危険性が低い。

※ 震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。

いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。